

2013年3月期 第2四半期決算説明会

平成24年10月31日

新鮮さをお安く心をこめて

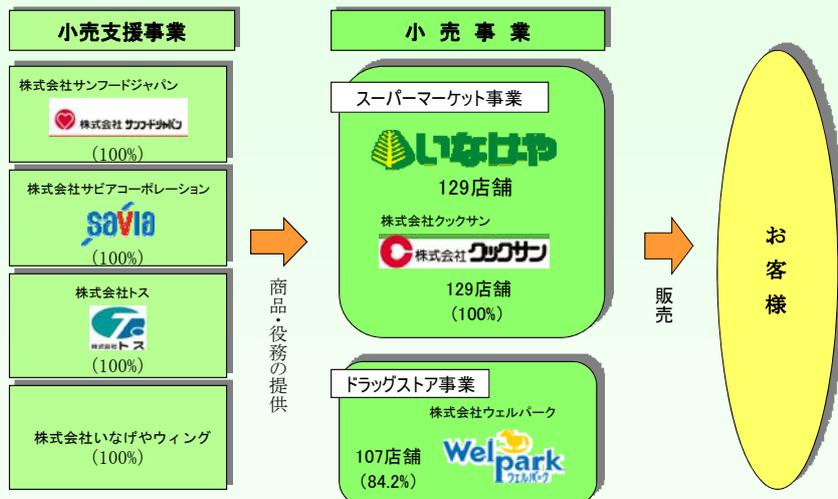


<http://www.inageya.co.jp>

証券コード8182

代表者名 代表取締役社長 遠藤正敏
問合せ先 常務取締役 財務担当 藤本 勇

いなげやグループ概要



1. **連結決算の状況**
2. 事業別決算の状況
3. 事業別 経営計画の状況
4. 通期 業績予想

2013年3月期第2四半期
決算説明会

連結 経営成績

短信P.6、参考P.1

(億円未満切捨て)

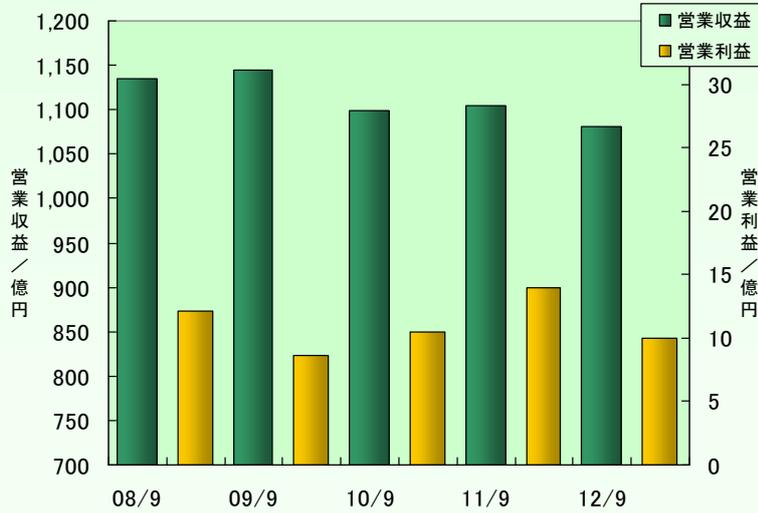
	12/3期 第2四半期			13/3期 第2四半期			増減額 (億円)
	金額 (億円)	売上高比 (%)	前期比 増減(%)	金額 (億円)	売上高比 (%)	前期比 増減(%)	
営業収益	1,103		0.4	1,081		△2.0	△22
売上高	1,063	100.0	0.5	1,041	100.0	△2.1	△22
営業利益	14	1.3	34.2	10	1.0	△29.0	△4
経常利益	15	1.4	29.6	11	1.1	△23.7	△3
四半期純利益	1	0.1	—	1	0.2	27.5	0

	SM事業	ドラッグ事業	連結
全店売上高前期比増減(%)	△3.0	3.1	△2.1
既存店売上高前期比増減(%)	△4.7	△0.6	△4.1
売上総利益率(%)、括弧前期比P)	27.7(0.1)	24.0(△0.6)	27.1(△0.2)
売上高営業利益率(%)	0.6	1.8	1.0

連結 営業収益・営業利益 5期推移



参考P.1



連結 財政状態



短信P4,5

(億円未満切捨て)

	12/3期末		13/3期 第2四半期末		増減額 (億円)
	(億円)	構成比%	(億円)	構成比%	
流動資産	267	32.7	260	32.5	△7
固定資産	549	67.3	540	67.5	△9
流動負債	255	31.2	250	31.3	△4
固定負債	118	14.5	109	13.6	△9
純資産	443	54.3	441	55.1	△2
総資産	816	100.0	800	100.0	△16

・流動資産 現金及び現金同等物 4億円減
未収入金 4億円減

・固定資産 有形合計 7億円減、
差入保証金 2億円減

・流動負債 未払法人税 8億円減
未払金・未払費用等 4億円増

・固定負債 長期借入金 8億円減
・純資産 利益剰余金 1億円減

自己資本比率 前期比0.8P増 54.8%

設備投資 キャッシュフローベース 連結合計 10億円

1. 連結決算の状況
- 2. 事業別決算の状況**
3. 事業別 経営計画の状況
4. 通期 業績予想

2013年3月期第2四半期
決算説明会

セグメント別の状況

短信P.9

13/3期 第2四半期

(億円未満切捨て)

	SM事業※	ドラッグ事業※	その他※	調整	連結損益 計算書計上額
売上高					
外部	857	176	7	—	1,041
内部	0	0	34	△34	—
計	857	176	42	△34	1,041
セグメント利益 (営業利益)	5	3	1	△0	10

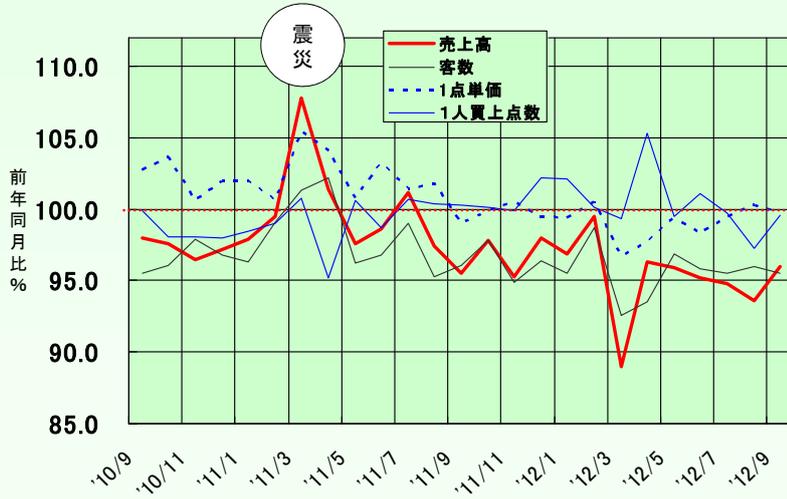
※事業別の数字は調整前の数字です

SM事業

既存店売上高 月別推移 10/10~12/9



参考P.5

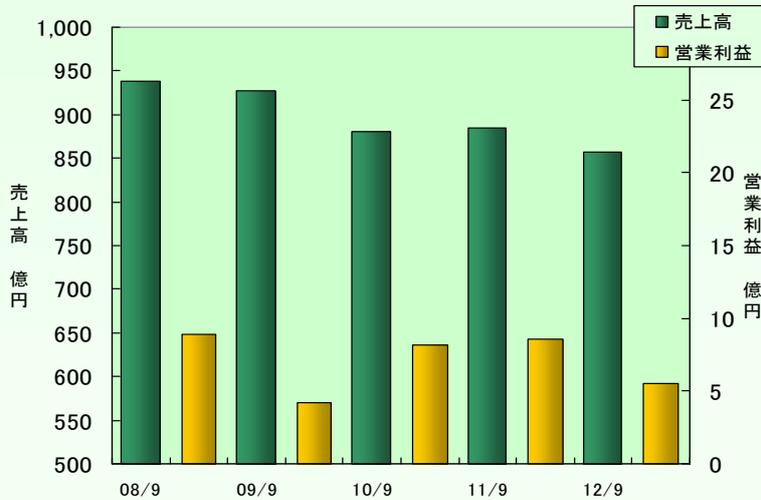


SM事業

売上高・営業利益 5期推移



※08/9と09/9の数字は簡便な方法で算出しております



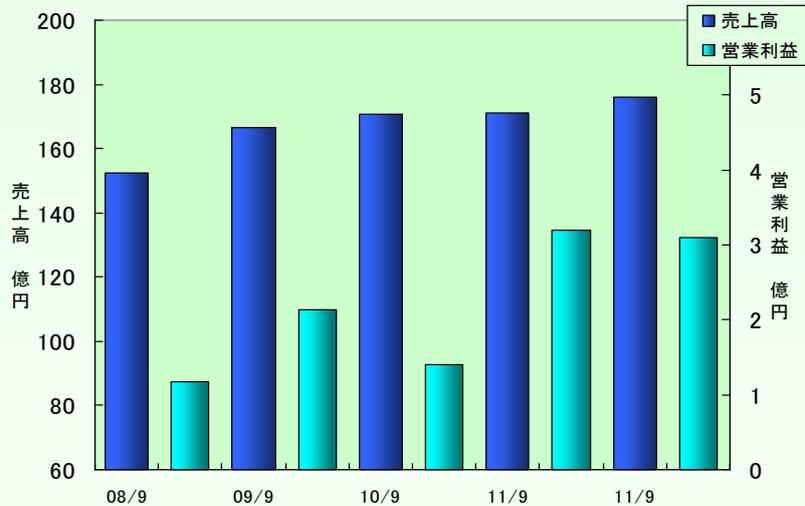
ドラッグ事業
既存店売上高 月別推移 10/10~12/9

新鮮さをお安く心をこめて
いなほ
参考P.5



ドラッグ事業
売上高・営業利益 5期推移

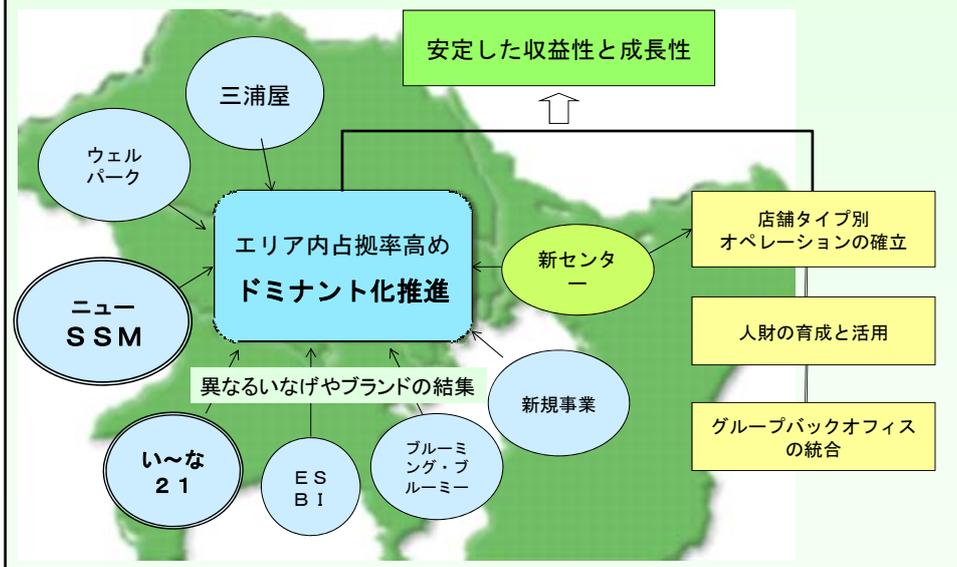
新鮮さをお安く心をこめて
いなほ



1. 連結決算の状況
2. 事業別決算の状況
- 3. 事業別 経営計画の状況**
4. 通期 業績予想

2013年3月期第2四半期
決算説明会

いなげやグループ
12/13年度 新中期経営計画 イメージ



2010/11年度

I SM事業の安定した
収益性の堅持

II 新たな顧客創造
への挑戦

目標: SM事業客数前期比100%



2012/13年度

I エリア内占拠率を高め
ドミナント化推進

II SM事業
安定した収益性を目指す

目標: 全社客数・売上高
前期比100%以上
新規事業 売上高 5億円(13年度)

I エリア内占拠率を高め ドミナント化を推進

- ①ニューSSMタイプへ改装推進(中型大型店の強化)
- ②い～な21 中身の継続的見直し(小型店の強化)
- ③新規事業への挑戦(新たな商品サービスの提供)
- ④ESBIの実験 2号店開設
- ⑤三浦屋の100%子会社化

II 安定した収益性を目指す

- ①さらなる経費削減
- ②グループバックオフィスの統合
- ③人財の育成と活用 研修センターの設置と活用

SM事業 店舗タイプ別
既存店売上状況 2012.4～2012.9



小型店と未改装店舗の競争力低下が影響。

	売上高 前期比(%)	客数 前期比(%)	点数 前期比(%)
小型店	93.3	94.9	96.0
中型店	95.1	95.5	95.5
大型店	96.8	96.8	96.4
全店	95.3	95.7	96.0

SM事業
下期 予定



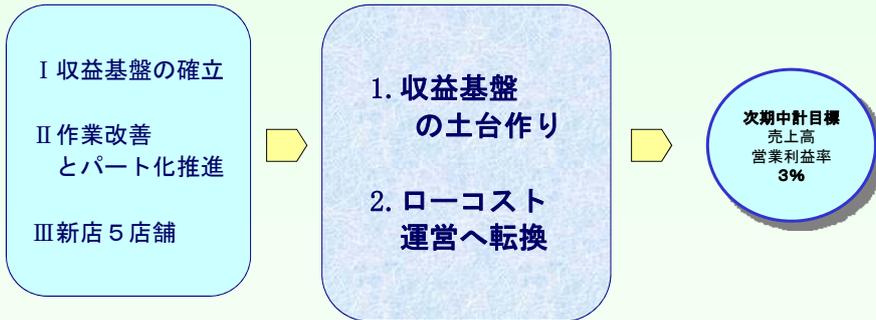
- 1. エリア内占拠率を高め ドミナント化を推進
 - ①新店 2店 35億円/年商
ブルーミングブルーミー・セレオ八王子店10/25
ina21西武入間ペペ店10/10
既存店活性化 6店 ニューSSMの推進など
 - ②三浦屋の子会社化 9店舗 116億円/年商
創業88年の老舗。今後のシナジーへの取り組み
 - ③ing・fanカードでの優良顧客囲い込みの継続
 - ④新規事業 宅配事業の拡大を目指す
- 2. 安定した収益性を目指す
 - ①グループバックオフィスの統合
 - ②さらなる経費削減 LED導入
 - ③次期新センター構想へ着手

ドラッグ事業
12年度(13/3期) 経営計画



11年度

12年度



ドラッグ事業
上期取組みと下期予定



- 収益基盤の土台作り
 - ①店舗タイプ別標準化
 - ②主力商品への取組み
 - ③新規カテゴリー導入
 - ④新店 4店舗
- ローコスト運営へ転換
 - ①店舗オペレーション効率化
 - ②人件費コントロール
 - ③グループバックオフィスの統合

1. 第2四半期 連結決算の状況
2. 第2四半期 事業別決算の状況
3. 事業別 経営計画の状況
- 4. 通期業績予想**

2013年3月期第2四半期
決算説明会

13/3期(通期) 小売事業計画

【営業収益】

(億円未満切, %)	営業収益(計画)	前期比増減率	既存店売上高 前期比増減率
SM事業	1,840	0.5	△2.8
ドラッグ事業	365	4.0	△0.4
計	2,205	1.1	△2.4

【CF設備投資】

リース資産含まず

(億円未満切捨)	新店	改装店	その他	合計
SM事業	750	450	850	2,050
ドラッグ事業	500	50	50	600
計	1,250	500	900	2,650

13/3期(通期) 数値計画

	連結	
	金額(億円未満切捨て)	前期比増減(%)
営業収益	2,217	1.2
営業利益	40	1.7
経常利益	43	3.9
当期純利益	19	62.7

	売上高営業利益率(%)
SM事業	1.6
ドラッグ事業	2.2
連結	1.9



すこやけく像

《経営理念》

すこやけくの実現

お客様の健康で豊かな暖かい日常生活とより健全な社会の実現に貢献する。

商人道の実践

お客様のお喜びを自分自身の喜びとして感じることができる人間集団。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ
IR担当窓口
財務部
担当：山澤、菊谷
TEL:042-537-5353
FAX:042-537-5355